

平成28年第1回(3月)
粕屋町議会定例会

一般質問通告一覧表

通告順	議員氏名
1	本田芳枝
2	中野敏郎
3	田川正治
4	太田健策
5	木村優子
6	安藤和寿
7	福永善之
8	川口晃
9	久我純治
10	長義晴
11	小池弘基
12	山脇秀隆

通告順 NO. 1 質問者 12番 本田 芳 枝

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>予算化していないものと予算化できないもの</p>	<p>本年2月、給食センター建設に関して教育委員会の業務遂行が滞る大きな事案が執行部より報告された。教育委員会の事務手続きの在り方に大きな欠陥があるのではないかと。教育行政の長としての見解と責任を問う。</p> <p>(1) 平成27年度当初予算に埋め土の処理費が予算化されていないのに現在8千万円を超える費用が発生</p> <p>(2) 昨年6月に文部科学省の交付金申請を怠った件</p> <p>(3) 教育委員会の事務体制の現状と責任問題について</p> <p>(4) 教育行政を推進するための課題と今後の対策は</p>	<p>教育長</p>
<p>ふれあいバス</p>	<p>子ども議会で仲原小学校の6年生がふれあいバスについての質問をしている。町の答弁は「土日や祝日、駅や病院を通るコース、遅い時間までの運行など、より利用しやすいバス運行を望む声が上がっているため、別のバスの仕組みなども今後考えていきたい」。12月議会の私の質問に対する答弁も「現状では限界にきている」というものだった。町の今後の方針を問う。</p> <p>(1) 平成28年度の施策・方向性について</p>	<p>町長</p>
<p>かすやこども館の運営について</p>	<p>新年度5月開館予定でかすやこども館の開館準備が進められている。事前準備として以下の事項に対する検討内容を問う。</p> <p>(1) ボランティアの育成について</p> <p>(2) 各公民館との連携について</p> <p>(3) かすやこども館を使っの各課の事業計画はどのくらい予定されているのか</p>	<p>町長</p>
<p>校納金の徴収方法について</p>	<p>粕屋町の小中学校の校納金の徴収は、児童生徒が現金の入った封筒を持参し、小学生の場合は担任が、中学生の場合は県費事務の職員が集める方式によっている。その金額は中学校の場合年間合計27,773,000円にもものぼる。近隣の自治体では、篠栗町以外は全部口座振替となっているようだ。教育委員会の見解を問う。</p> <p>(1) 現状について、また、未納の場合はどういう対策をとっておられるのか</p> <p>(2) 手始めに金額が大きい修学旅行費、一律のPTA会費などを口座振替にしてはどうか</p>	<p>教育長</p>

通告順 NO. 2 質問者 2番 中野敏郎

質問事項	質問の要旨	質問の相手
水鳥橋の落橋について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 落橋の原因は (2) 粕屋町水鳥橋復旧検討委員会と命名したのはどのような理由からか (3) 平成27年3月粕屋町水鳥橋復旧検討業務委託の内容は (4) 平成27年12月粕屋町水鳥橋形式検討業務委託の内容は (5) 撤去工事で新たに解明できたことは 	副町長 都市政策部長
再発防止のために	<ul style="list-style-type: none"> (1) 今現在進行形の工事は大丈夫か (2) 監理体制について改善すべき点は (3) 橋脚として再使用しないで、モニュメントとして残せないか 	町長 副町長 都市政策部長

通告順 NO. 3 質問者 9番 田川正治

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>学校給食センター建設での産廃対策は万全か</p>	<p>町長は産廃処理に関して検討した結果、現在の建設場所での工事再開を記者会見で発表されたが、町民の不安と心配は解消されていない。大学教授や学識者などの専門的な助言や指導を受け対策を講じることで安全確保を担保したいとのことだが、安心・安全な給食を提供することに支障が出ないのか。ガス発生事故や地盤沈下事故などが心配されるが。安全だと確証できる根拠は。</p>	<p>町長</p>
<p>老朽化した保育所の建て替えと待機児童の対策を</p>	<p>(1) 前町長は昨年3月議会で、中央保育所と仲原保育所の老朽化対策については、公共施設等総合管理計画で優先度は高いとの答弁だったが、具体的な計画作成は</p> <p>(2) 待機児童の根本的解消のため保育士確保と施設の改修を</p> <p>(3) 育児休業中の在園児の継続保育、特に年少者の継続保育</p> <p>(4) 保育料の所得割課税を細かく分類する制度に見直しを</p>	<p>町長</p>
<p>公契約条例の制定で労働者賃金の下限設定を</p>	<p>(1) 公共工事やサービスの官製ワーキングプアをなくすこと</p> <p>(2) 公務・公共サービスの品質確保のため適切な賃金保障を</p> <p>(3) 発注者の行政、受注業者、労働者が損をしない制度を</p>	<p>町長</p>
<p>JR駅のエレベーター設置などで安全対策を</p>	<p>(1) 原町駅のエレベーター設置やバリアフリー化を</p> <p>(2) 柚須駅の駅舎の拡幅や建て替えで乗降客の安全を</p> <p>(3) 伊賀駅、酒殿駅の無人化を撤回させ安全の確保を</p>	<p>町長</p>

通告順 NO. 4 質問者 6番 太田 健 策

質問事項	質問の要旨	質問の相手
給食センター建設費について	<p>(1) 日建設計のPFI可能性調査時で約64億円、(株)長大による精査時で約68億円に増額されたのはなぜか</p> <p>(2) (株)長大による精査時で施設整備費においては従来方式で14億円、15%削減され約12億円になっている。そもそも従来方式で出された金額の根拠がどうして出されたのか</p> <p>(3) 日建設計が算出したPFI調査時では、施設撤去費が2,640万円だったのが(株)長大のPFI精査時では73,929千円に増額された。再三資料を求めたが、不存在という事で開示されなかった。という事は、どうして金額は出されたのか</p> <p>(4) 施設撤去費について、平成27年9月24日に前室長の関次長より出された資料によると、平成24年度PFI可能性調査で2,640万円だったのが、平成25年度で6,720万円になり、平成25年度の入札予定価格85%で約5,710万円になっているが、(株)長大から出されているPFI精査では、単体工事であり削減は見込ないとあるが、何の為の資料であったのか</p> <p>(5) 平成26年12月9日に総務常任委員会に施設撤去費2,640万円が73,929千円に、その差額がどうなったのか審議をお願いした結果、平成26年12月16日に総務常任委員会に出された資料では施設整備費が約12億5千万円から約16億2千万円に増額されている。又、解体撤去費は削減され、約2,840万円になっている。最初の(株)長大の資料と全く違っている。何の為にこの資料は出されたのか</p> <p>(6) (株)長大を参考人として招致し質問したが、町が出した資料については全く知らないと言われた。その資料で平成27年の12月議会で議長の決断で裁決されたが、職員の文書偽造での採決は無効ではないのか。勝手に職員が文書を作成していいのか</p> <p>(7) PFI事業者選定委員会の中にPFI事業を精査した(株)長大が参加しているのは何故か</p> <p>(8) (株)長大が算定した金額が、PFI事業者選定委員会で審議されなかったのが、そもそも間違いであったのではないか</p> <p>(9) 教育長の安くて良いものというキャッチフレーズで建設が進んでいるが、(株)長大の算定では施設整備費が12億円、下請けと契約されたのが約8億円。4億円も違う。そんなPFI事業があってはならないのではないか</p>	町 長

<p>粕屋町社会福祉協議会の運営と補助金について</p>	<ul style="list-style-type: none">(1) 粕屋町社会福祉協議会の補助金はどういう算出方法なのか(2) 職員の配置についてはどう考えられているのか(3) 補助金について糟屋郡1市7町あるが、それぞれ人口の差があるが、それは補助金の算出に参考にしないのか(4) 福祉センターの建て替えについては、どう計画されているのか。又、その時に風呂の計画はあるのか(5) 福祉の巡回バスはどう計画されているのか。他町との違いをどう考えられているのか	<p>町長</p>
------------------------------	---	-----------

通告順 NO. 5 質問者 3番 木村 優子

質問事項	質問の要旨	質問の相手
口腔に関する検診の更なる充実に向けて	<p>口腔が全身の健康に及ぼす影響については近年様々な角度から研究がなされております。</p> <p>また、日本人の平均寿命が延びる一方で、歯の寿命も延ばすことが課題となっています。</p> <p>以下順次質問いたします。</p> <p>(1) それぞれの世代別に、粕屋町が行っている検診の状況について</p> <p>(2) 歯科診療分レセプトの分析から町が考えていること</p> <p>(3) 歯の健康に関して町が設定している目標について</p> <p>(4) 26年から行っている成人の歯科検診についての現状と課題について</p> <p>(5) 歯科検診についての対象者の拡充及び今後行う予定の事業はあるか</p>	町長
図書館の充実に向けて	<p>(1) 図書館で利用されている雑誌の平均貸し出し数とそれは全体の何%にあたるのか。また、雑誌にかかる毎年の費用について</p> <p>(2) 図書購入費の確保のために、雑誌スポンサー制度を導入しては</p> <p>(3) 町内の小中学生への貸出状況（人数がわかれば人数も）</p> <p>(4) 子どもの読書意欲をかき立てると近年導入する自治体が増えている「読書通帳」について、我が町でも導入してはどうか</p>	町長 教育長

通告順 NO. 6 質問者 1番 安藤 和寿

質問事項	質問の要旨	質問の相手
ICT環境について	サンレイクかすや・かすやドームにおいて来場者への利便性向上を図る目的として、Wi-Fiの利用が出来る環境にできないか。(KASUYA city Wi-Fiの開設)	町長
小中学校男子トイレ事情について	<p>(1) 学校のトイレで大便をするとクラスメイトからバカにされる等から大便を我慢する児童の対応はどのように対応していますか</p> <p>(2) 学校において男子児童に対し学校で大便をする事は恥ずかしい事は無いのだという教育はされているのですか</p> <p>(3) 現在の学校のトイレは築年数も経過し古く、和式が主流となっていますが、小中6校の現在の和式と洋式の比率は 今後の改築において男女のトイレを和式から洋式に変更する等、男子トイレのオール個室化での改築は出来ないか</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>町長</p>

通告順 NO. 7 質問者 7番 福 永 善 之

質問事項	質問の要旨	質問の相手
給食センター建設における文科省に対する交付金の申請が間に合わなかったことに関して	約1.2億円と言われる交付金の申請ができていないようだが、何故、そのようなことが発生したのか問う。	町 長 教 育 長
財政援助団体に対する補助金の外部チェックに関して	<p>(1) 地方自治法199条7項に関して、補助金を出す側である町の認識を問う</p> <p>(2) 内部チェックと外部チェックの違いについて問う</p>	町 長 副 町 長 教 育 長

通告順 NO. 8 質問者 4番 川 口 晃

質問事項	質問の要旨	質問の相手
福岡県で1番環境の良い町づくり	<p>(1) 「多々良川と須恵川の堤防に『あじさいロード』を実現します」とありますが具体的にはどのようにされるのでしょうか</p> <p>(2) 須恵川・多々良川の洪水対策のための浚渫・拡幅の問題について</p> <p>(3) 他に環境問題について考えている事はあるのか、あれば示して欲しい</p>	町 長
J R 篠栗線の柚須駅駅舎の建設の問題及び交通対策	<p>(1) J R 原町駅・伊賀駅・門松駅の建設のために、どれ程の費用が掛かったのでしょうか。J R 負担分と粕屋町負担分について各々回答してください</p> <p>(2) 柚須駅駅舎建築に対するJ Rの態度について</p> <p>(3) 柚須駅駅舎建設に当たっての国や県からの補助金の種類について</p> <p>(4) 交通対策も含めた対策検討委員会（検討会）の設置を急ぐべき</p>	町 長
『子どもの貧困化』解消の問題	<p>(1) 福岡県は『子ども貧困対策』を重点化した予算を組んでいるが、町村で利用できる事業はあるか</p> <p>(2) 粕屋町としての独自対策、或いは他市町と連携しての政策など（医療費問題等も含めて）はあるのか</p> <p>(3) 大綱では『学校をプラットフォームと位置づけて総合的に対策を推進する』と学校を位置づけています。具体的にはどのような事が考えられますか</p>	町 長 教 育 長

通告順 NO. 9 質問者 11番 久我純治

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>長者原下区公民館前の水没する道路、あふれる水路の改良工事計画その後は</p>	<p>長者原下区公民館前の道、水路の計画は平成26年6月議会時補助金さえつけば2～3年で出来るという返事でした。平成27年は調査の年であったはずですが。</p>	<p>町長</p>
<p>伊賀・仲原線 県道の拡張工事のその後は</p>	<p>県道伊賀・仲原線歩道の拡張工事、やっと片側の拡張工事が終わり住民の人たちは大喜びです。平成26年12月議会中での県の答えは、アパート側にも1.2m程の歩道を造るとの事でしたがいまだできず。その後の進捗状況は。</p>	<p>町長</p>
<p>長者原下区下3組合付近裏道にある水路に蓋をして歩道の確保を</p>	<p>長者原下区下3組合の地域は住宅開発が進み、ザ・ビッグの裏の道も狭く水路に蓋をし、通学路や歩行者の安全性の確保に努めたい。車社会で車の通行が急に増し、歩行者に安全な歩道を。</p>	<p>町長</p>

通告順 NO. 10 質問者 10番 長 義 晴

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>公共施設等総合管理計画について問う</p>	<p>(1) 前執行部は適正な公共施設管理のため、平成28年2月の完了を目指し策定に着手すると言われていました。因辰美町長も議員の時からこども館建設より保育所の建替えが先ではないかとも発言されていましたが、公共施設等総合管理計画の策定は何時頃になりますか</p> <p>(2) 老朽化施設並びに施設の長寿命化対策が必要と思われる施設はどのようになっていますか</p>	<p>町 長</p>
<p>学校給食共同調理場建設について問う</p>	<p>特定有害物質の処理費用の対応並びに安全・安心の観点から住民説明会を開催し、賛否意見ある中で専門家の助言は安全対策を講じれば現在地での建設は問題ないとの判断をされて工事を再開されました。しかし、二学期9月からの供用開始は困難のようですがその対応について</p> <p>(1) 夏休みの期間中に既設設備解体が遅れるのに伴いその後新設工事と既設設備解体工事は並行して工事は可能ですか</p> <p>(2) 並行工事が不可能であれば冬休み、春休みの後まで供用開始が遅れる事が予想されます。また一日も早い供用開始を考えると当分の間は弁当持参はありますか</p> <p>(3) 住民説明会では賛成、反対を問わず弁当持参は無いようにとの意見が多数ありましたが、その対応と対策はありますか</p> <p>(4) 工事が延びる事で既設設備のトラブルが発生しないようにメンテナンスも必要ですが、計画は考えてありますか</p> <p>(5) 工事再開を決断されましたが、反面いろんな影響も出て来ることも想定されての工事中断と思います。工事の遅れを取戻すための検討を協議されましたか。またその考えはありますか</p>	<p>町 長</p>

通告順 NO. 11 質問者 8番 小池 弘 基

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>学校給食調理場建設における問題点について</p>	<p>(1) 今回の建設はPFI事業にて行われますが、当初より国からの交付金が貰えるむね説明がありました。交付金1億8,500万円の申請が忘れられて居り、その原因と今後の対策や責任についての考えを尋ねます</p> <p>(2) 建設場所は、当初より粕屋町のゴミ処分場跡地の上に建設される事になっており、町執行部からの説明では、問題は何もなく、廃棄物の処分費も予算計上されて居ませんでした。8,000万円の廃棄物処分費が必要になった経緯と誰の責任において議会にも報告をせずに5,000万円の廃棄物の処分を行ったのか、原因と、責任者について尋ねます。この金額はすべて貴重な住民からの税金です</p> <p>(3) このような問題が今後起こらないようにするための対策について尋ねます</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長 教 育 長</p>

通告順 NO. 12 質問者 13番 山脇 秀隆

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>子育て支援について</p>	<p>子育て支援は、「子どもの貧困」を減らすことにつながる。子どもの貧困率は、12年に16.3%と過去最悪を記録した。客観的データで分析をすると保育サービスと児童手当は、子どもの貧困を減らすことがわかった。子どもの貧困は、教育の格差を生み貧困の連鎖につながる。心がかようスマイルかすやの実現に子育て支援は欠かせない。また、4月施行の障害者差別解消法における合理的配慮の提供が行政には求められ障害児支援の取り組み方が大きく変わる。子育て支援の取り組みを聞く。</p> <p>(1) 子どもがいる現役世帯のうち、ひとり親家庭の貧困率は、11年では、54.6%で2人に1人が122万円以下で生活をしている。粕屋町のひとり親家庭の現状と課題。そして支援は、どのように行われているのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育支援（教育の均等） ・子ども食堂（立ち上げ支援） ・親の支援（専門職） ・その他等々 <p>(2) 障害児支援の基本は、子供たちに当たり前の生活を保障することにある。地域の身近なところで一般児童と共に生活を営み専門的な療育を受けなければならない。粕屋町の現状と課題、取り組みは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かすやこども館の取り組みは。（受入体制） ・町内小学校の発達障害児の現状（動向） ・その他等々 	<p>町長</p>